

# 日本言語学会第 144 回大会 プログラム

会 長 梶 茂樹  
大会運営委員長 遠藤 喜雄  
大会実行委員長 峰岸 真琴

期 日：2012年6月16日（土）、6月17日（日）

会 場：東京外国語大学（〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1）

Tel/Fax：042-330-5600 FAX：042-330-5610（「言語学会大会実行委員長」宛て）

Email：201206gengogakkai@tufs.ac.jp

共 催：東京外国語大学

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

\*\*\*\*\*

## — 第 1 日（6 月 16 日） —

10:30-13:00	評議員会（評議員の方はご出席下さい。）	本部管理棟 2 階大会議室
12:00-	受付・大会予稿集販売	研究講義棟 1 階ギャラリー
13:00-18:00	口頭発表（詳細は 2-3 ページにあります。） ワークショップ	研究講義棟 1 階, 2 階
18:15-20:00	懇親会	大学会館 1 階

## — 第 2 日（6 月 17 日） —

10:30-	受付・大会予稿集販売	アゴラ・グローバル
10:30-11:50	会長就任講演 「アフリカ人のコミュニケーション—音・人・ビジュアル—」 梶 茂樹（京都大学）	アゴラ・グローバル
11:50-13:20	ポスター発表（詳細は 4 ページにあります。）	アゴラ・グローバル 2 階
13:20-14:00	会員総会・会長挨拶・大会校挨拶（亀山郁夫 東京外国語大学長）・日本言語学会大会発表賞授賞式	アゴラ・グローバル
14:00-17:15	公開シンポジウム「知覚・感覚・感情をめぐる言語表現」 司会 遠藤 喜雄（神田外語大学） ・唯物論か、唯識論か？ —アルタイ型言語における感情述語の諸相— 風間 伸次郎（東京外国語大学） ・中国語の知覚・感覚・感情表現 —“痛快”と“凉快”の境界— 木村 英樹（東京大学） ・タイ語の知覚・感覚・感情表現 峰岸 真琴（東京外国語大学 AA 研） ・インドネシア周辺の言語における知覚・感覚・感情表現 塩原 朝子（東京外国語大学 AA 研） ・総括「認知類型と心理述語」 大堀 壽夫（東京大学）	アゴラ・グローバル

※ 会長就任講演・公開シンポジウムはどなたでも参加できます。

口頭発表（6月16日（土）13:00–18:00）

	<b>A会場（研究講義棟 102）</b> 司会：高野 祐二（前半），藤井 友比呂（後半）	<b>B会場（研究講義棟 103）</b> 司会：滝浦 真人（前半），玉岡 賀津雄（後半）
13:00–13:30	[A-1] Lina BAO, Hideki MAKI, Megumi HASEBE On the distribution of possessive pronouns in modern Mongolian	[B-1] 姜 英淑 韓国麗水市突山邑方言のアクセント
13:35–14:05	[A-2] Hideki MAKI, Dónall P. Ó BAOILL A mystery with the <i>ceart</i> ‘correct’ construction in modern Ulster Irish	[B-2] Jaehyun SON 韓国語光陽方言のアクセント
14:15–14:45	[A-3] Fumikazu NIINUMA, Shigeki TAGUCHI Double- <i>o</i> Constraint revisited	[B-3] 李文淑 韓国語方言における語彙アクセント消失とソウル方言音調パターンの成立
14:50–15:20	[A-4] 菅野 悟, 北田 伸一 対格言語と能格言語の共時的違いと通時的変化	[B-4] 木山 幸子, 玉岡 賀津雄, リヌス・フェアドンスコット 終助詞の感受性に関する個人差: 対人調整能力と性別の影響
15:20–15:40	(休憩)	(休憩)
15:40–16:10	[A-5] 野元 裕樹 受動文における外項抑制／結合価減少は必須か？	[B-5] 勝田 順子, 堀江 薫 マレーシア語の談話小辞 <i>kan</i> の機能分化: 日本語の文末形式との対比を通じて
16:15–16:45	[A-6] 浅田 裕子 等価的小節の分布について	[B-6] 平崎 永里子 LFにおける格と虚辞 <i>there</i> の統語機能について
16:55–17:25	[A-7] 大関 洋平, 飛島 麻衣 音象徴／類像的意味と統語構造のインターフェイス	[B-7] 金 英周, 五十嵐 陽介, 酒井 弘 韓国語／朝鮮語「属格主語節」の統語構造—韻律的特徴を手がかりとして—
17:30–18:00	[A-8] 今村 怜, 小泉 政利 かき混ぜ文とゼロ目的語の談話機能における相補分布性	[B-8] 辰己 雄太 Predicate Phrase と日本語助詞の「に」

	<b>C会場（研究講義棟 107）</b> 司会：三間 英樹（前半）	<b>D会場（研究講義棟 108）</b> 司会：北原 真冬・彭 国躍（前半）
13:00–13:30	[C-1] 大滝 靖司 父称 <i>Mac-/Mc-</i> で始まる姓の借用語における促音化: つづり字と音節構造	[D-1] 三村 竜之 ノルウェー語 <i>Sandnes</i> (サンネス) 方言における前気音の音韻論: 無声閉鎖音の解釈と関連づけて
13:35–14:05	[C-2] 儀利古 幹雄 町名のアクセント: アクセントの平板化と言語内的要因	[D-2] 青井 隼人 宮古における「中舌母音」の音韻解釈
14:15–14:45	[C-3] Ayaka SUGAWARA Japanese accent is largely predictable: evidence from given names	[D-3] 林 範彦 チノ語補遠方言の介音の推移とその周辺
14:50–15:20	[C-4] Michael KENSTOWICZ Kyungsang Korean accent classes and lexical drift	[D-4] Ting-Chi WEI Non-reconstruction in Chinese sluicing
15:20–15:40	(休憩)	(休憩)
15:40–17:25	<b>ワークショップ 1</b> 那須川 訓也, 早田 輝洋, フィリップ・バックレイ, 時崎久夫 アクセント位置と音調素性 (15:40–17:25, 詳細は4ページ)	<b>ワークショップ 2</b> 長崎 郁, 江畑 冬生, 山越 康裕, 麻生 玲子 東アジア接尾辞型諸言語における動詞屈折形式: 分詞に関する問題を中心に (15:40–17:25, 詳細は4ページ)

	<b>E会場（研究講義棟 109）</b> 司会：澤田 英夫，大崎 紀子（前半） 塩原 朝子，米田 信子（後半）	<b>F会場（研究講義棟 226）</b> 司会：堀田 優子（前半）
13:00-13:30	[E-1] 藤原 敬介 カドー語とガナン語における疑問助詞について	[F-1] 大江 元貴 日本語と中国語の「能力主体指向の可能表現」 —「ニ」標示可能文と“会”可能文—
13:35-14:05	[E-2] 熊切 拓 アラビア語チュニス方言における文構造の働き	[F-2] 東寺 祐亮 V スギル構文の解釈と構造
14:15-14:45	[E-3] 江畑 冬生 サハ語の使役文・受身文における格標示と有生性	[F-3] 長辻 幸 日本語等位接続表現の語用論的分析 —タリとシの場合—
14:50-15:20	[E-4] 吉村 大樹 ウズベク語のいわゆる suspended affixation について	[F-4] 山田 昌史 「AをBにする」構文の分析 —語彙概念構造からのアプローチ—
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[E-5] 小林 正人 マルト語の副動詞における冗長な活用の発生	<b>ワークショップ 3</b> プラシャント・パルデシ，前川 喜久雄，山崎 誠， 赤瀬川 史朗，影山 太郎  コーパス基盤の日本語研究の新地平 (15:40-17:25，詳細は4ページ)
16:15-16:45	[E-6] 佐々木 充文 古典ナワトル語の被動者名詞形成における項の飽和	
16:55-17:25	[E-7] 石塚 政行 バスク語レクンベリ方言における能格と同様の機能を持つ絶対格	
17:30-18:00	[E-8] 岩崎 加奈絵 ハワイ語における特殊動詞 — “Loa’a-type verbs” を巡って	

	<b>G会場（研究講義棟 227）</b> 司会：斎藤 倫明（前半），野村 益寛（後半）
13:00-13:30	[G-1] 綿貫 啓子 後置文の情報構造と統語特徴
13:35-14:05	[G-2] 佐々木 冠 現代日本語標準語における未然形
14:15-14:45	[G-3] 五十嵐 啓太 命題選択プロセスの存在を明示する「の（だ）」文
14:50-15:20	[G-4] 蒲地 賢一郎 認識論における「のだ」
15:20-15:40	(休憩)
15:40-16:10	[G-5] 張 楠 複合動詞形成における「一義的経路制約」の再解釈 —「*落とし壊す」「*潰し壊す」はなぜ不適切なのか—
16:15-16:45	[G-6] 長谷部 郁子 日本語における「擬態語+つく」タイプの動詞の形成について
16:55-17:25	[G-7] 並木 翔太郎 移動様態動詞と生起する着点ニ格名詞句とその認可条件
17:30-18:00	[G-8] 呉 泰均 ネオ敬語「ス」の語用論的機能

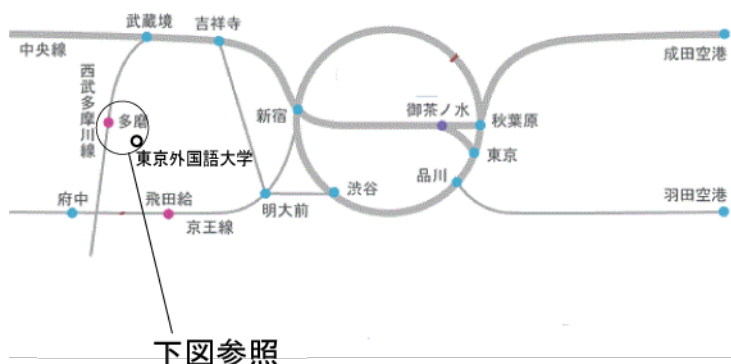
■ワークショップ 6月16日(土) 15:40-17:25

C会場 (研究講義棟 107)	ワークショップ1 アクセント位置と音調素性 企画・司会: 那須川 訓也
	アクセントの担い手となる単位 早田 輝洋
	日本語における音調素性 那須川 訓也, フィリップ・バックレイ
	日本語における複合語と句のアクセント 時崎 久夫
D会場 (研究講義棟 108)	ワークショップ2 東アジア接尾辞型諸言語における動詞屈折形式: 分詞に関する問題を中心に 企画: 長崎 郁 司会: 江畑 冬生
	サハ語の動詞屈折形式: 形式と機能の対応 江畑 冬生
	ブリヤート語の動詞屈折形式: 分詞の機能/派生との区別 山越 康裕
	コリマ・ユカギール語の動詞屈折形式: 分詞の機能と形態法 長崎 郁
	八重山語波照間方言の動詞屈折形式と述部が要求するモダリティ要素 麻生 玲子
F会場 (研究講義棟 226)	ワークショップ3 コーパス基盤の日本語研究の新地平 企画: プラシャント・パルデシ 司会: 影山 太郎
	『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)の構築とKOTONOHA計画の歩み 前川 喜久雄
	形態論情報を利用したBCCWJ検索ツール『中納言』の機能とその日本語研究への活用 山崎 誠
	レキシカルプロファイリング手法を用いたBCCWJ検索ツールNINJAL-LWPとその研究事例 プラシャント・パルデシ, 赤瀬川 史朗

■ポスター発表 6月17日(日) 11:50-13:20

アゴラ・グローバル 2階	[P-1] FREGUJA Fulvio 日本語とアイヌ語の受動構文をめぐって —不定人称構文についての考察—
	[P-2] 宮本 彩加, 小林 由紀, 広瀬 友紀 早期英語教育および英語圏生活経験の効果の検証 —日本人大学生による英語の対立音素の聴覚認知—
	[P-3] 日高 俊夫 語彙的複合動詞における使役起動交替
	[P-4] 梅村 弥生 ビジネス接触場面の会話において齟齬が生じたとき —会話の「修復」の視点から—

# 会場へのアクセス



下図参照

## ◆JR 中央線

武蔵境駅で西武多摩川線に乗り換え、

多磨駅で下車、徒歩 5 分

※JR 東京駅～武蔵境駅は約 35 分、

JR 新宿駅～武蔵境駅は約 20 分です。

※中央特快・青梅特快にお乗りの方は、三鷹駅で快速にお乗り換え下さい。

※西武多摩川線武蔵境駅～多磨駅は約 5 分です。およそ 12 分に 1 本の間隔です。ご注意ください。

## ◆京王電鉄

飛田給駅北口より

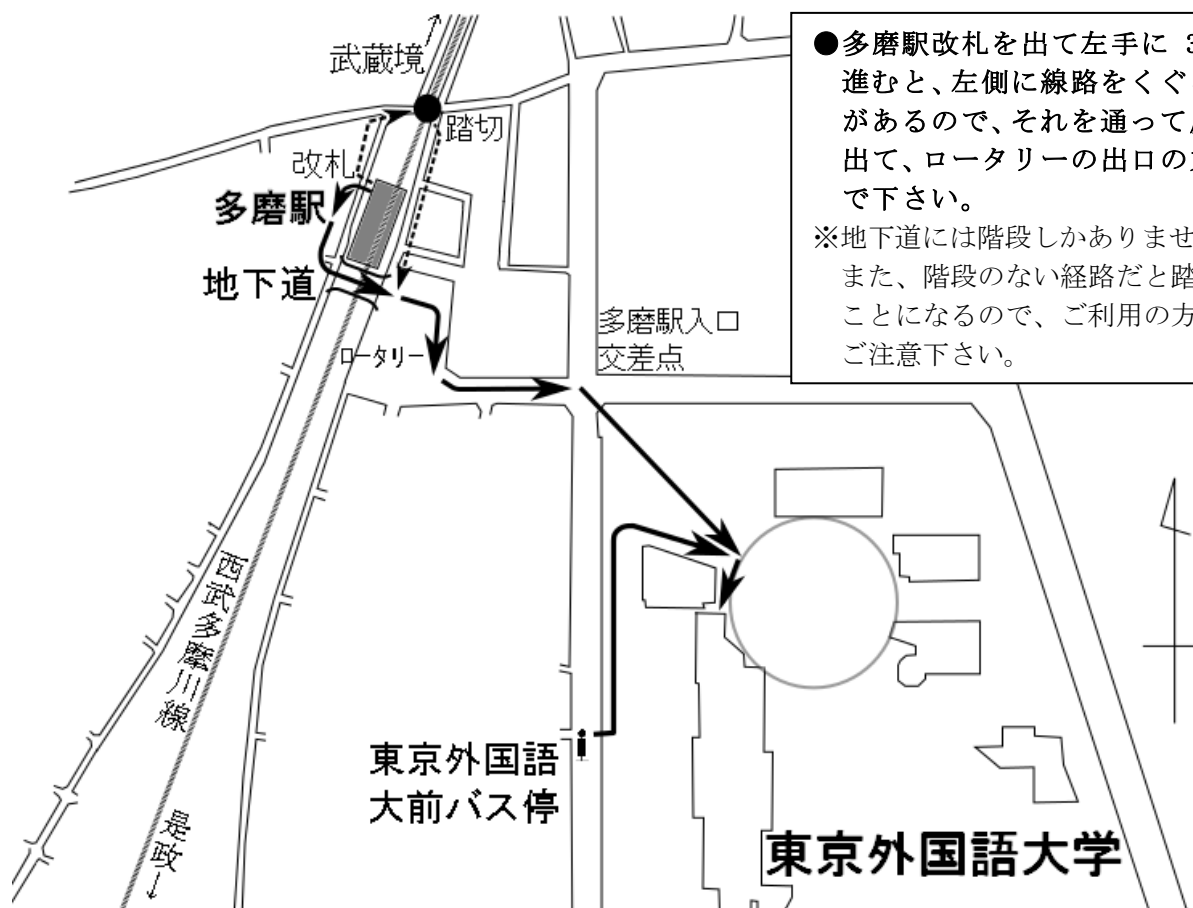
京王バス多磨駅行きで約 10 分、

東京外国語大学前で下車

※京王バス多磨駅行きはおよそ 30 分に 1 本の間隔です。

・構内に駐車場がありませんので、自動車での来校はご遠慮下さい。

## 東京外国語大学周辺地図



●多磨駅改札を出て左手に 30m ほど進むと、左側に線路をくぐる地下道があるので、それを通って反対側に出て、ロータリーの出口の方に進んで下さい。

※地下道には階段しかありません。

また、階段のない経路だと踏切を渡ることになるので、ご利用の方は十分にご注意下さい。

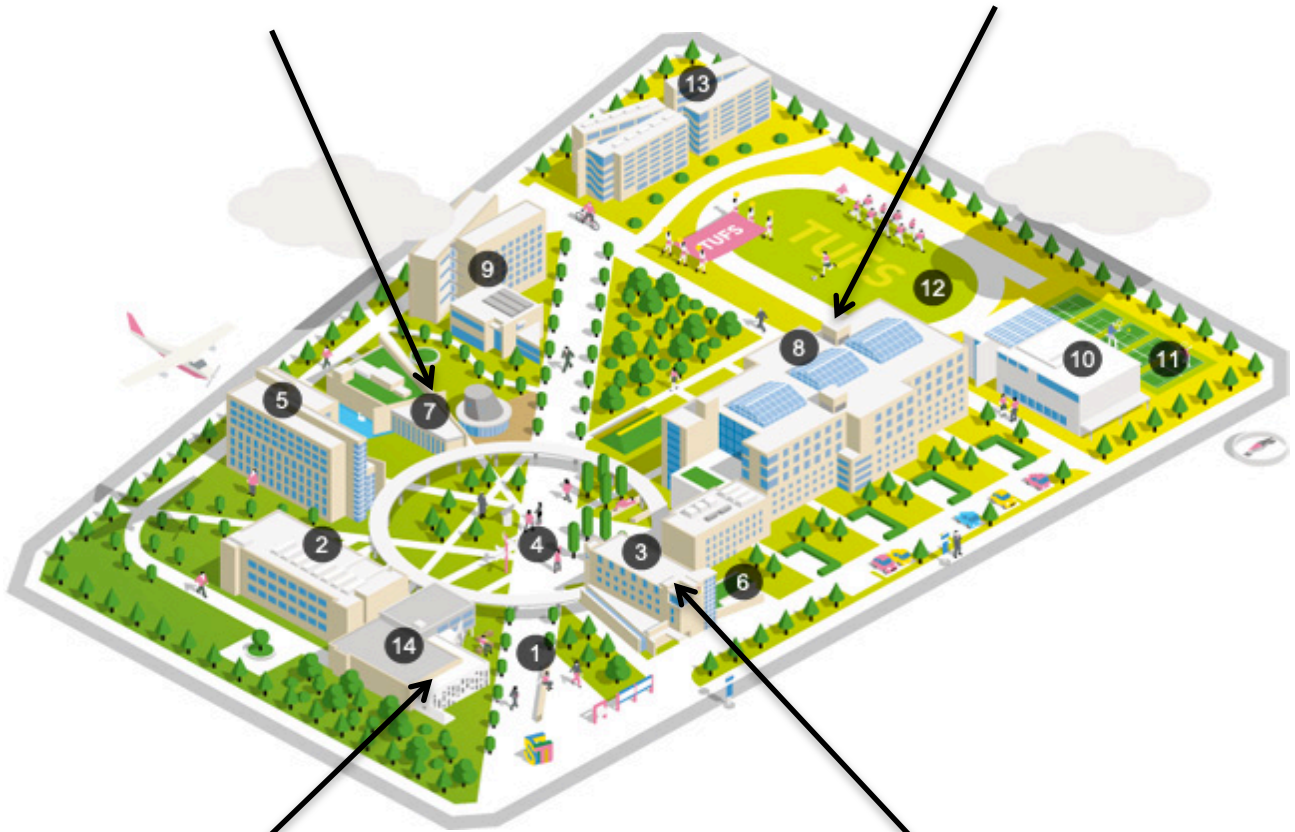
# キャンパスマップ

16日(土) 午後

16日(土) 夕方

大学会館 (= ⑦)  
懇親会

研究講義棟 (= ⑧)  
受付・口頭発表・ワークショップ



17日(日)

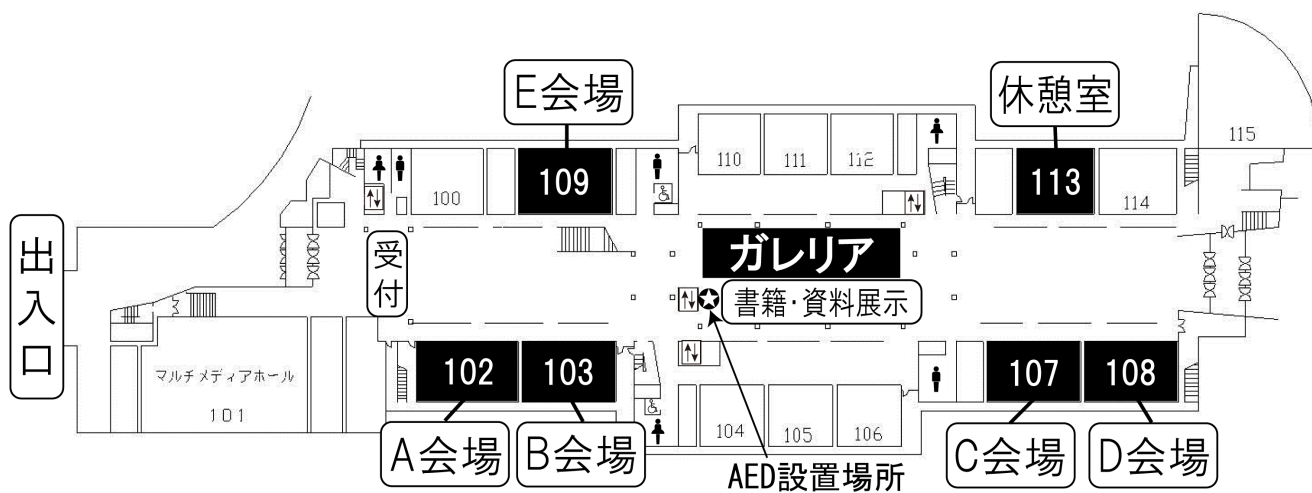
アゴラ・グローバル (= ⑭)  
受付・会長就任講演・ポスター発表・  
会員総会・公開シンポジウム

16日(土) 午前

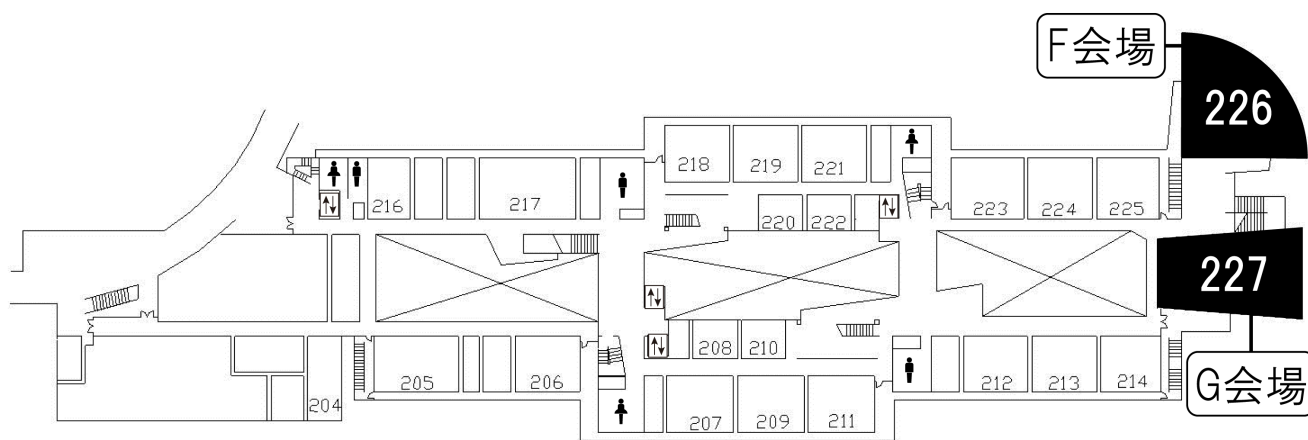
本部管理棟 (= ③)  
評議員会

# 《会場配置図》

## (研究講義棟 1階)



## (研究講義棟 2階)



エレベーター

## お知らせ

### ◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、6月6日(水)までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：6月16日(土) 12:40-18:10 6月17日(日) 10:00-17:30
- ・料金：お子様1人1時間につき500円

### ◆大会予稿集の販売について

大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します(1部2,000円)。大会前の予約・購入は受け付けていません。

### ◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。参加費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

### ◆車椅子の利用

ご利用希望の方は6月11日(月)までにお申し込み下さい。(申込先：201206gengogakkai@tufs.ac.jp)

### ◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、6月1日(金)(必着)までに学会事務支局までお申し込み下さい。

### ◆大会期間の昼食について

今大会では、土曜日も日曜日も大学食堂は営業しません。弁当の販売もありません。各自ご持参下さい。

### ◆書籍展示

書籍展示は、16日は研究講義棟1階ギャラリーで、17日はアゴラ・グローバル1階フロアで行います。

### ◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。(配布物は当日受付にご持参下さい。)

### ◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込み下さい。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金下さい。

また、今大会の予稿集も、残部がある場合購入していただくことが可能です(送料込みで1部2,500円)。

※在庫情報は学会ホームページをご覧ください。学会事務支局までご連絡下さい。

### 次回大会予告(2012年秋季大会：第145回大会)

場 所：九州大学(箱崎キャンパス) (〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1)

日 程：11月24日(土) 口頭発表

11月25日(日) ワークショップ、ポスター発表、公開シンポジウム

研究発表募集：

- ・学会ホームページから発表申し込みができます。

※応募要領は学会ホームページをご覧ください。

- ・発表応募締め切り 2012年8月20日(月)(必着)

- ・採否通知 9月中旬

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075)415-3661, Fax. (075)415-3662, E-mail: lsj@nacos.com